

しんかんきょう

公益社団法人神奈川県環境保全協議会

2013. 4
第 127 号

(総会特別号)



- 4月1日から公益社団法人神奈川県環境保全協議会としてスタートしました！
- 本号には総会資料の一部を掲載しました。総会当日にご持参下さい。
- 総会に続く記念講演会！
 - ・神奈川県から「かながわスマートエネルギー構想」の話
 - ・日産自動車(株)から「車の垣根を超えたスマート・コミュニティ」の話
電子技術開発本部エキスパートリーダー 二見 徹 氏

会報 しんかんきょう も く じ

平成25年 4 月No.127（総会特別号）

1	第1回定時総会のご案内	
(1)	第1回定時総会次第	1
(2)	第1号議案 平成24年度事業報告について	2
(3)	第3号議案 平成25年度事業計画（案）について	6
(4)	第5号議案 公益社団法人発足に伴う役員について	8
	協議会事務局	
2	平成25年度公益社団法人神奈川県環境保全協議会環境保全表彰	9
	協議会事務局	
3	法令・行政の動向	
(1)	環境農政局の組織再編について	10
	神奈川県環境農政局総務室	
(2)	中小規模事業者省エネルギー対策支援のお知らせ	12
	神奈川県環境農政局環境部環境計画課	
4	平成24年度環境保全視察研修会に参加して	13
	トピー工業(株)綾瀬製造所 西口 毅	
5	かながわの自動車交通環境対策とエコドライブのすすめ	14
	～その2 CO ₂ 削減効果があり誰でも実施できる「エコドライブ」～	
	神奈川県環境農政局環境部大気水質課	
6	会員事業所訪問「お元気ですか？」	
15	中村屋(株)神奈川工場を訪ねて	16
16	日新工業(株)本社・神奈川工場を訪ねて	17
	協議会事務局 山崎 美紀	
7	協議会の活動状況	18
	協議会事務局	
8	お国自慢・事務局だより	20

第 1 回定時総会のご案内

第 1 回定時総会次第

開催日：平成25年5月23日(木)

[第 1 部] 第 1 回定時総会 (14:30～15:15) [日産自動車(株)グローバル本社 ホール]

- 1 開 会 の こ と ば
- 2 会 長 あ い さ つ
- 3 来 賓 祝 辞
- 4 議 長 選 出
- 5 議 事 録 署 名 人 選 出
- 6 議 事
 - 第 1 号議案 平成24年度事業報告について
 - 第 2 号議案 平成24年度収支決算報告について
平成24年度会計監査報告
 - 第 3 号議案 平成25年度事業計画(案)について
 - 第 4 号議案 平成25年度収支予算(案)について
 - 第 5 号議案 公益社団法人発足に伴う役員について

[第 2 部] 環境保全表彰 (15:15～15:25)

環 境 保 全 表 彰
閉 会 の こ と ば

[第 3 部] 記念講演 (15:45～16:45)

「神奈川県が進めるかながわスマートエネルギー構想」
神奈川県産業労働局参事監 (エネルギー担当) 藤巻 均 氏

「車の垣根を超えたスマートコミュニティについて」
日産自動車(株) 電子技術開発本部エキスパートリーダー 二見 徹 氏

[第 4 部] レセプション (17:15～18:45) [6階 食堂]

議案資料

- 第 1 号議案 平成24年度事業報告について・・・本誌 2～5 ページ
- 第 2 号議案 平成24年度収支決算報告について・・・総会にてスライドで説明
- 第 3 号議案 平成25年度事業計画(案)について・・・本誌 6～7 ページ
- 第 4 号議案 平成25年度収支予算(案)について・・・総会にてスライドで説明
- 第 5 号議案 公益社団法人発足に伴う役員について・・・本誌 8 ページ

第 1 号議案 平成24年度事業報告について

事 業 名 等	実 施 内 容
総 会	
第31回通常総会 平成24年 5月30日 (水) 県民共済みらいホール	(1) 総会議事 (2) 平成24年度 (社)神奈川県環境保全協議会環境保全表彰 3事業所と6個人が受賞されました。 (3) 記念講演 「科学技術が拓く私たちの未来～小惑星探査機「はやぶさ」 の奇跡から～」 宇宙航空研究開発機構(JAXA)教授 川口淳一郎 氏
会 議	
1 理事会 第 1 回 平成24年 4月10日 (火)	(1) 平成24年度環境保全表彰等被表彰者の承認について (2) 第31回通常総会の開催について ほか
第 2 回 平成24年10月23日 (火)	(1) 平成24年度各種環境保全表彰の推薦結果について (2) 公益社団法人への移行に伴う5か年計画(H25 - H29) ほか
第 3 回 平成25年 3月22日 (金)	(1) 平成25年度事業計画 (案) について (2) 平成25年度収支予算 (案) について ほか
2 総務委員会 第 1 回 平成24年 4月10日 (火)	(1) 環境保全表彰等被表彰者の選考について (2) 公益法人移行後の定款案について ほか
第 2 回 平成24年10月23日 (火)	(1) 平成24年度各種環境保全表彰の推薦結果について (2) 平成25年度事業計画及び5か年計画(H25 - H29) ほか
第 3 回 平成25年 3月22日 (金)	(1) 平成25年度事業計画 (案) について (2) 平成25年度収支予算 (案) について ほか
3 企画教育委員会 第 1 回 平成24年 9月25日 (火)	(1) 平成24年度内の開催事業予定について (2) 公益法人化に向けての5か年事業計画案について ほか
4 広報委員会 第 1 回 平成24年 5月25日 (金)	(1) 会報125号発行とホームページ広報について
第 2 回 平成24年11月 9日 (金)	(1) 会報126号及び127号発行とホームページ広報について
5 地区部会等 (1) 地区部会の役員会議 (4地区) 平成25年 2月	(1) 平成25年度事業計画について (2) 会長、県政総合センター所長表彰等候補者推薦について ほか
(2) 大和・綾瀬分会 理事会 4回開催	(1) 平成25年度事業計画について (2) 最新の廃棄物情報について ほか
会計監査	
平成24年 4月 5日 (木)	監事：武田 純一 氏 立会：中島 義昭 氏 (県環境農政局総務部総務課)
研修会事業	
1 平成24年度公害防止管理者等講習会 (神奈川県からの受託) (1) 大気交通環境・廃棄物関係 藤沢会場 平成24年10月10日 (水) 横浜会場 平成24年10月30日 (火)	講師：県関係課担当者、阿部 豊 氏、丸山 康夫 氏 (1) 県内大気汚染の状況と大気関係の法例の動向等 (2) 大気関係に関する取組み事例 (日産自動車㈱・住友重機械工業㈱) (3) 自動車の使用に伴う環境負荷の低減について (4) 廃棄物処理関係法令の動向について

事業名等	実施内容
(2) 水質・土壌・化学物質関係 藤沢会場 平成24年10月16日(火) 横浜会場 平成24年11月1日(木)	講師：県関係課担当者、山岡 憲一氏、山下 知子氏 (1) 水質関係の法例の動向等について (2) 土壌関係の法令の動向について (3) 土壌汚染又は水質汚濁に係る技術的動向又は企業の取組等について (4) 化学物質の県内管理状況と関連法令の動向について (5) 化学物質の管理・排出抑制技術に係る企業の取組について
2 平成24年度公害防止統括者講習会 (神奈川県からの受託) 横浜会場 平成25年2月4日(月) 藤沢会場 平成25年2月15日(金)	(1) 環境保全に係る企業の自主的な取組について～三菱電機の事例 講師：竹内 秀年氏(三菱電機株) (2) 最近の企業を取り巻く環境問題について 講師：神田 英治氏(株)日立アーバンインベストメント (3) 企業の環境コンプライアンスについて～公害防止統括者に期待すること～ 講師：神田 英治氏(株)日立アーバンインベストメント
3 ISO内部環境監査員養成研修会 平成24年5月9日～10日 会場：波止場会館 受講者：30名	講師：山岡 憲一氏、坂山 幸平氏 (1) 環境側面について (2) 要求事項の概要と内部環境監査のポイント (3) 環境法規、(4) 内部監査の進め方 (5) 演習(現場監査の実際・整合性監査・チェックリスト) (6) 研修効果(テスト)確認
4 新ISO内部環境監査員ブラッシュアップ研修会 第1回：平成24年9月11日(火) 会場：万国橋会議センター 受講者：16名	講師：若松 郁夫氏、神田 英治氏、山下 知子氏 (1) 企業における環境管理と内部監査の役割 (2) 最近の環境法令の動向 (3) 内部監査の在り方(ISO19011等) (4) 実践演習(模擬監査、監査所見の作成)
第2回：平成24年9月14日(金) 会場：神戸製鋼所藤沢事業所 受講者：20名	講師：若松 郁夫氏、神田 英治氏、山下 知子氏 (1) 企業における環境管理と内部監査の役割 (2) 最近の環境法令の動向 (3) 内部監査の在り方(ISO19011等) (4) 実践演習(模擬監査、監査所見の作成)
5 生物多様性と企業の役割講座 第3回「地域協同による恵み豊かな環境づくり」 平成24年6月8日(金) 会場：アサヒビール(株)神奈川工場 受講者：39名	(1) 三菱電機(株)東部研究所地区における生物多様性への取組み (2) 茅ヶ崎市行谷での田んぼ再生と地域連携～ (3) 富士ゼロックスが目指す生態系とのパートナーシップ (4) 企業が進める生態系保全活動と見える化-日立ITエコ実験村 (5) 神奈川県の里地里山の保全等の条例とその取組み (6) アサヒビール(株)神奈川工場の環境への取組み (7) 開成町ホテルの里づくり研究会の蛍の棲める自然環境の再生 (8) 神奈川トンボ調査・保全ネットワークのアサヒビオガーデンの生息環境保全と地域連携～ (9) アサヒビオガーデン・ビール製造ラインの見学と意見交換会
6 環境実務後継者育成講座 平成25年1月29日(火) 会場：波止場会館 受講者：33名	講師：武 繁春、鷺山 享志、山下 知子、長岡 文明の各氏 (1) 神奈川県の環境の現状と公害の歴史 (2) 環境法令の全体像の理解 (3) 環境法令の読み方(ルール) (4) 法令・条例の申請手続き (5) 排水・排出ガスの測定 (6) 事故・苦情への適切な対応 (7) 公害防止及び廃棄物に関する環境管理の在り方 (8) 廃棄物の基礎知識と廃棄物の適正処理に関する具体的な演習

事業名等	実施内容
7 産業廃棄物協会 県央地区委員会との共催研修会 平成25年2月12日(火) 会場：アーバンホテル厚木 参加者：36名	(1) 排出事業者の廃棄物管理～管理のポイントと情報システム活用法～ 三菱電機(株)情報技術総合研究所 竹内 秀年氏 (環境保全アドバイザー) (2) 廃棄物処理業務のIT化の今後～電子契約はどこまで業務に有効か～ (株)佐野環境都市計画研究所 所長 佐野 敦彦氏
8 地区研修会 (1) 横須賀鎌倉地区研修会 平成24年9月6日(木) 会場：プロミティーふちのべ 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 相模原キャンパス 参加者：17名	(1) 県内の環境の現状等に関する情報提供 (社)神奈川県環境保全協議会事務局長 青山 尚巳 (2) 宇宙航空研究開発機構(JAXA)の施設見学
(2) 湘南地区研修会 平成24年9月19日(水) 会場：全日本空輸(株)機体メンテナンスセンター 参加者：36名	(1) 湘南地域における環境の現状と課題について 神奈川県湘南地域県政総合センター環境部 岡村 和雄 環境保全課長 (2) 全日本空輸(株)機体メンテナンスセンターの施設見学 (3) 全日本空輸(株)の概要及び環境活動の取り組みについて
(3) 県西地区研修会 平成24年9月26日(水) 会場：花王(株)川崎工場 参加者：13名	(1) 花王(株)川崎工場の概要説明及び視察見学(製造ライン及び環境施設) (2) 県西地域における環境の現状と課題について 神奈川県県西地域県政総合センター環境部 西田 積 環境保全課長
(4) 県央地区研修会 平成24年10月3日(水) 会場：森永製菓(株)鶴見工場 参加者：26名	(1) 森永製菓(株)鶴見工場の概要説明・工場見学および質疑応答 (2) 県央地域における環境の現状と課題について 神奈川県県央地域県政総合センター環境部 鷲山 享志 環境保全課長
(5) 大和綾瀬分会の視察研修会 平成24年12月10日(月) 参加者：12名	(1) M.M.プラスチックのプラスチック循環システムの視察 (2) 新日本製鐵(株)君津製鐵所のプラスチックリサイクル施設の視察
調査・支援事業	
1 環境保全視察研究会 平成25年3月1日(金) 参加者：29名	県外事業所のものづくりの現場と環境施設の見学、環境保全活動の取り組みを学ぶため、以下の視察を行いました。 ジャトコ株式会社本社・富士地区 【静岡県富士市今泉】 日本製紙(株)板紙事業本部吉永工場 【静岡県富士市比奈】 NEXCO中日本コミュニケーションプラザ富士 【静岡県富士市厚原】
2 環境保全アドバイザーコンサルティング事業	環境保全アドバイザー登録状況：16名 ISO内部環境監査員養成研修会等の講師として活躍
3 会報の発行	「しんかんきょう」124号(4月総会特別号)、125号(8月)、126号(1月)を発行
4 ホームページによる情報提供	環境法令改正トレンドを毎月発信など
5 印刷物の発行頒布	アイドリングストップ啓発看板、指定事業所表示板の頒布
6 環境保全表彰 (1) 環境保全表彰選考会議(4/10)	平成24年度環境保全表彰被表彰者の選考(3事業所と4個人を選考)

事業名等	実施内容
(2) 環境保全表彰式(5/30)	環境保全表彰被表彰者の表彰（3事業所と3個人を表彰）
(3) 環境保全表彰選考会議(4/20)	平成25年度環境保全表彰被表彰者の選考（3事業所と4個人を選考）
連携事業	
1 環境保全被表彰者の推薦 (1) 県政総合センター所長表彰 [県央地区] [湘南地区] [西湘地区]	受賞者：自動車部品工業(株)海老名工場（環境整備功労） 受賞者：共同薬品(株)秦野工場（大気・水・土壌功労） 受賞者：アサヒビール(株)神奈川工場（大気・水・土壌功労）
(2) 県環境保全（大気・水・土壌関係） 功労者表彰（知事表彰）	受賞者：住友重機械工業(株)横須賀製造所 アマノ(株)津久井事業所 JX日鉱日石金属(株)倉見工場 アサヒビール(株)神奈川工場 日産自動車(株)座間事業所
(3) 県環境整備功労者表彰（知事表彰）	受賞者：日立オートモティブシステムズ(株)相模事業所 富士ゼロックス(株)竹松事業所
2 新かながわサイエンスサマー参加 平成24年7月28日（土） 参加者：親子18組（36名）	新規事業として、アンリツ(株)との共催によるこども向けの環境講座を開催した（第12回かながわサイエンスサマー）。 テーマ：子供科学環境教室～ラジオを作ろう！ 会場：アンリツ(株)本社工場
3 県央地域環境情報交流会 平成24年11月29日（木） 会場：(株)フジタ技術センター 参加者：12名	テーマ：「災害に備える」 ～災害に伴う環協汚染を防止するためにできること 内容：日立ピアメカニクス(株)及び山下マテリアル(株)による事例発表 神奈川県に影響を与える地震とその心構えについて 神奈川県温泉地学研究所 主任専門員 伊藤 博 氏
4 マイアジェンダ登録	行政、団体主催・主導の各種事業に協力、協同して取り組んだ。
5 エコドライブの推進	
6 レジ袋削減に向けたマイバッグ普及	
7 電気自動車の率先導入と来客用駐車場への充電器設置	

第3号議案 平成25年度事業計画(案)について

1 事業計画の基本方針

関係行政機関・団体との連携・協力のもと、公益団体として県下事業所における環境保全の取り組みの増進を図り、あわせて会員サービスの更なる向上を目指しながら、各種の教育研修事業や普及啓発事業を積極的に実施する。

2 事業計画

事業名		実施内容
1	総会	ア 日時 平成25年5月23日(木) イ 場所 日産自動車(株)グローバル本社 ホール
2	会議	協議会の円滑な運営を図るため、次の会議を開催する。 (1) 理事会 3回(5月、9月、1月) (2) 総務委員会 3回(5月、9月、1月) (3) 企画教育委員会 2回(6月、12月) (4) 広報委員会 2回(5月、9月) (5) 専門部会担当委員会 1回(未定)
3	地区部会活動事業	地域の行政機関、関係団体との連携のもと、地区ごとに研修会を開催するほか、地域の事業等に協力、参画する。 (1) 地域研修会 ア 内容 地域の課題に応じた情報交換と研修 イ 対象 各地区部会の会員事業所 (2) 役員会議 2月
4	公害防止管理者等講習会(環境保全実務者講習会)(県受託予定事業)	公害防止管理者の再教育をとおり、資質の向上を図る。 ア 内容 省エネ、大気、水質、化学物質、廃棄物、土壌等に係る法令及び技術の動向等に関する講習 イ 対象 県内事業所の公害防止管理者及び環境保全担当者 ウ 日程 10~11月
5	ISO内部環境監査員養成研修会	ISO14001規格の内部環境監査員の養成研修を行う。 (1) 2日間コース: 5月9日(木)、10日(金) (2) 個別企業向け1日コース: 適宜、会員の要請に応じて開催
6	ISO内部環境監査員ブラッシュアップ研修会	ISO14001規格の内部環境監査員の再研修を行う。 ア 対象 内部環境監査の経験者 イ 日程 6月19日(水)
7	環境実務後継者育成講座	環境実務者の世代交替に対応して、後継者育成を図る。 ア 対象 事業所の環境実務の初心者等 イ 日程 1月

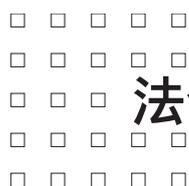
事業名		実施内容
8	新女性のための環境保全研修会	環境保全業務を担当する女性を対象にした研修等を行う。 ア 対象 会員・非会員事業所の環境保全担当の女性等 イ 日程 2月
9	環境保全視察研究会	優良な環境保全施設を見学し、意見交換等を行う。 ア 対象 会員事業所の環境保全担当者等 イ 日程 3月
10	公開環境講演会	総会後に、一般参加者も対象とした講演会を開催する。 ア 日程 平成25年5月23日(木) イ 講師 神奈川県環境農政局参事監(エネルギー担当) 藤巻 均氏 日産自動車(株)電子技術開発本部 エキスパートリーダー 二見 徹氏
11	環境保全アドバイザー派遣事業	会員事業所からの依頼に基づき、技術支援や企業内研修会への講師として環境アドバイザー(登録者数:16名)を派遣する。
12	会報の発行	環境保全の技術資料とともに、法令、行政、会員の動向等を提供する。 ア 発行回数 3回(4、8、12月) イ 発行部数 約500部
13	ホームページによる情報提供事業	専門部会担当委員会において、有益な環境報等の収集、分析、データ整備を行い、随時ホームページにより環境情報を提供する。
14	表示板・印刷物等の発行、頒布	県条例に規定がある環境管理事業所や指定事業所の表示板、アイドリリングストップの啓発看板等を会員等の依頼に基づき製作し頒布する。
15	環境保全表彰	環境保全の自主管理を進め、その実績が優れていると認められる事業所・個人を総会の場で表彰し、その栄誉を称える。
16	関係行政機関・団体との連携・協力事業	県・市町村等で実施される環境保全の取組みに連携、協力する。 (1) 環境保全被表彰者の推薦 県政総合センター所長、県農政局長、県知事、環境大臣などの各種表彰被表彰者を推薦する。 (2) マイアジェンダ登録 事業所として、また従業員家族ぐるみの登録を推進する。 (3) エコドライブ推進 荷主として、また社有や従業員所有車両のエコドライブを推進する。 (4) レジ袋削減に向けたマイバック普及 従業員家族ぐるみでマイバッグ使用を推進する。 (5) 電気自動車の率先導入と来客用駐車場への充電器設置 車両の代替時には率先してEVとするほか、来客駐車場に200V電源の普通充電器などを設置し、利便に供する。 (6) サイエンスサマー協賛こども環境講座 子供向けの環境講座を開催する。

第5号議案 公益社団法人発足に伴う役員について

役職名	氏名	所 属	役 職
代表理事 会 長	吉村 東彦	日産自動車(株)追浜工場	理事工場長
代表理事 副 会 長	堀江 秀明	富士フイルム(株)神奈川工場	執行役員神奈川工場長
代表理事 副 会 長	川上 彰久	(株)さんこうどう	代表取締役
常務理事	青山 尚巳	(公社)神奈川県環境保全協議会	事務局長
理 事	石川 洋介	(株)岡村製作所追浜事業所	事業所長
理 事	久保 修	関東化成工業(株)	総務部 主査 兼務 安全衛生環境課 課長
理 事	加藤 政裕	中外製薬(株)鎌倉事業所	研究本部研究業務推進部 鎌倉事業所長代理
理 事	菊地原秀光	アマノ(株)津久井事業所	生産部長
理 事	高杉 和宏	アンリツ(株)	環境・品質推進部長
理 事	加賀谷 努	ソニー(株)厚木テクノロジーセンター	厚木総務部マネジャー
理 事	長田 圭五	東芝機械(株)相模工場	工務部相模設備課課長
理 事	西口 毅	トピー工業(株)綾瀬製造所	設備技術部保全技術グループ
理 事	尾高 恵吾	(株)ニコン相模原製作所	所長
理 事	杉崎 健司	日立オートモティブシステムズ(株) 相模事業所	相模生産技術課長
理 事	高岩 真吾	いすゞ自動車(株)藤沢工場	総務人事部業務グループ 藤沢安全健康管理
理 事	小島 利春	市光工業(株) ライティング事業本部伊勢原製造所	人事総務課長
理 事	佐藤 裕稔	関西ペイント(株)平塚事業所	事務部安全環境課係長
理 事	伊賀 祐人	田中貴金属工業(株)湘南工場	品質管理セクション ISO事務局マネージャー 環境管理責任者
理 事	井出 勝則	東邦チタニウム(株)茅ヶ崎工場	環境安全事務局
理 事	稲田 秀樹	J X 日鉱日石金属(株)倉見工場	環境安全室主任技師
理 事	村上 安英	日産車体(株)	安全環境部 主担
理 事	高橋 毅	(株)日立製作所ITプラットフォーム 事業本部	環境管理センタ環境統括室長
理 事	毎田 正雄	三菱樹脂(株)平塚工場	環境安全品証部長
理 事	板谷 行生	(株)カネボウ化粧品小田原事業場	技術戦略グループ
理 事	南場 徹也	クボタシーアイ(株)小田原工場	EMS事務局
理 事	河村 和之	(株)DNPアイ・エム・エス小田原工場	総務部小田原総務課課長
理 事	岡田 充弘	富士ゼロックス(株)竹松事業所	総務部環境経営グループマネージャー
監 事	武田 純一	味の素(株)川崎事業所	総務・エリア管理安全・環境グループ
監 事	宮井 達也	(株)中外医科学研究所	鎌倉ランチ長

平成25年度 公益社団法人神奈川県環境保全協議会 環境保全表彰

受賞者名	所在地 (個人：所属事業所名)	功績の概要
北興化学工業(株) 開発研究所	厚木市	相模川に近い田園地帯に位置し、緑の整備された研究所において、環境にやさしい安全な農薬の開発、事業所や製品の環境保全等に努めるとともに、環境保全協議会への会報執筆に協力するなど、豊かで快適な社会の構築に向けて尽力を傾けている。
(株)ネモト・ルミ マテリアル 平塚事業所	平塚市	製造販売している特殊蛍光体はLED用蛍光体、ランプ用蛍光体等として利用され、使用電力の削減に貢献。 また、蓄光材は昼間の太陽光を蓄積し発光する、電力のかからない省エネ製品であり、環境に大きく貢献するとともに、事業所自体の環境管理にも努力している。
日立情報通信 エンジニアリング(株)	中井町	省エネの推進として入退管理システムと連動させてエネルギー管理システムでフロア在室人数に応じた室内温度を設定するなど自動的な電力削減に努めている。 また、廃棄物のリサイクルや適正管理の徹底を図るとともに、購買システムのグリーン調達に努めている。
和田 吉 一	岡村製作所(株) 追浜事業所	多年に亘り環境関連施設に携わり、昭和63年からは公害防止管理者に選任され、設備の技術管理者としても改善を推進している。また、平成9年には国内業界初のISO 14001取得のために寄与し、事業所の環境保全の向上に多大なる貢献をしている。
稲 垣 幹 男	中外製薬(株) 鎌倉研究所	事業所の環境保全業務及び行政対応に15年以上携わり公害防止に尽くし、過去においてISO14001及びOHSAS 18001の事務局を務めると共に、内部監査員としてリスクの回避及び環境負荷の低減策などPDCAのアドバイスをを行い、効率的な作業環境の改善に貢献した。
蛭 川 正 幸	(株)神戸製鋼所 藤沢事業所	多年に亘り環境保全業務に従事し、事業所全体の環境管理を取りまとめる環境管理事務局として、社員への環境教育、所内の排水水質管理、廃棄物発生量の削減・リサイクル・適正処理、化学物質適正管理、環境設備改善など、顕著な実績をあげている。
川 口 正 人	日立製作所(株) ITプラットフォーム 事業本部	環境施設に係る技術管理及びISO14001事務局業務のまとめを担当し、電力設備、空調設備、排水処理設備の省エネの推進を図り、廃棄物の削減活動や化学物質の適正管理等を取りまとめ、事業所の環境マネジメントシステムに貢献するとともに、環境保全協議会の環境保全アドバイザーとしても継続的な支援を行っている。



法令・行政の動向

平成25年度 環境農政局の組織再編について

神奈川県環境農政局総務室

本県における本庁機関は、局の所管事務がおおむね現在の形になってから10年以上が経過していたことから、昨今の次世代育成やエネルギー問題、県内経済の活性化などの重要な県政課題に対応できる効率的な組織執行体制を目指し、この4月から本庁機関を再編しました。

また、環境農政局の所管業務についても、県民ニーズの高度化・複雑化が進んでおり、今後とも重要な県政の諸課題に効果的に対応していくため、組織体制を再編しました。

環境農政局関係の再編の概要は、次のとおりです。

エネルギー部門の移管
環境保全部から環境部へ
資源循環課と廃棄物指導課の事務分担の見直し
総務室の設置

1 エネルギー部門の移管

これまでエネルギー問題は、環境農政局内に新エネルギー・温暖化対策部を設けて、省エネ・創エネ・蓄エネを柱としたスマートエネルギー構想を推進し、東日本大震災を契機とした節電意識の向上、住宅向けの太陽光発電の普及、電気自動車を活用した蓄電技術の向上などの取組みを実施してきました。

太陽光発電など再生可能エネルギーの導入促進や水素エネルギーなど次世代自動車の普及、さらにはエネルギーマネジメントシステムの導入など、「スマート化」を一層推進していくためには、産業政策の一環として強力に取り組んでいく必要があることから、これらのエネルギー部門を産業労働局に移管し、再生可能エネルギーを所管する地域エネルギー課及び次世代自動車やスマートエネルギーを所管するスマートエネルギー課としてリニューアルし、本県の経済の活性化につなげていきます。

2 環境保全部から環境部へ

新エネルギー・温暖化対策部の所管業務のうち、CO₂排出量削減対策など地球温暖化対策は依然として重要な取組みですので、引き続き環境農政局において実施していきます。

地球温暖化対策は環境計画課において所管することから、環境保全部の名称を環境部に変更しました。

3 資源循環課と廃棄物指導課の事務分担の見直し

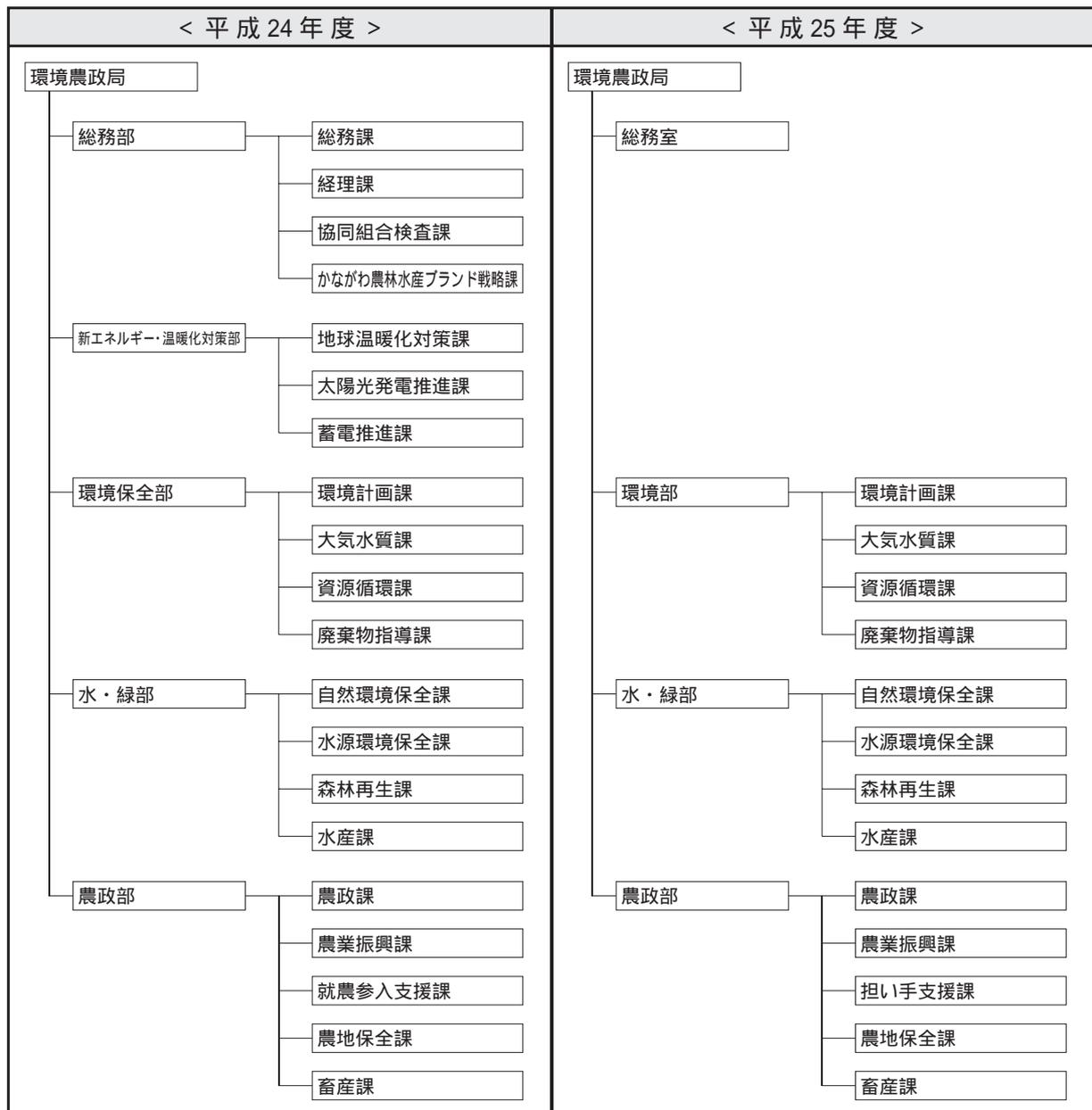
廃棄物処理法に基づく指導権限（産廃・一廃）を廃棄物指導課に、不法投棄関連を資源循環課に集約するなど、業務の関連性を重視して両課の事務分担を見直しました。

4 総務室の設置

今回の本庁組織の再編に伴い、各局の総務部の所管業務については、調整機能に純化し、部局横断的な調整を実施しやすい体制としました。

環境農政局の総務部には、総務課、経理課、協同組合検査課及びかながわ農林水産ブランド戦略課の4課ありましたが、総務課及び経理課については局内の横断的な調整業務が主であり、協同組合検査課にあつては、各事業部から独立した立場で農協や漁協の検査を所管することから、この3課を統合し、総務部を廃止し総務室を設置しました。なお、かながわ農林水産ブランド戦略課は、産業労働局の観光課に編入し、かながわのブランディング戦略と観光振興を一体的に取り組むこととしました。

環境農政局組織図（本庁）



このように、新しい環境農政局は、1室3部13課の体制でスタートいたします。今後とも、本県の環境行政へのご支援、ご協力につきまして、よろしくお願いいたします。

中小規模事業者省エネルギー対策支援のお知らせ

神奈川県環境農政局環境部環境計画課

電気やガスの使用量削減は、コストダウンに直結します。省エネを実行し、経営環境の改善を図りましょう！

神奈川県は、中小規模事業者の皆様のそんな取組を応援するため、3つの支援対策を用意しました。

無料省エネ 相談

省エネの知識や経験が豊富なエネルギー管理士が、中小規模事業者の皆様在省エネに関する疑問、質問や悩みなどに的確なアドバイスをします。どんな些細なことにも親切、丁寧に相談、助言を行います。来所による面談のほか、電話やFAXによる相談もお受けしておりますので、お気軽にご利用ください。

無料省エネ 診断

具体的な省エネ対策の検討を希望している中小規模事業者の皆様には、「無料省エネ診断」をオススメします！省エネの知識や経験が豊富なエネルギー管理士が診断員として皆様の事業所に直接お伺いし、電気やガスなどの使用状況や設備の運転管理状況などをプロの目で診断します。さらに、省エネ改善に向けた技術的なアドバイスも行います。省エネ診断は、既存設備の運用対策を中心とした「簡易診断」と、設備導入対策まで視野に入れた「本格診断」の2種類のメニューを用意しています。

省エネ診断を受けることができる中小規模事業者は、
県内における原油換算エネルギー使用量が1,500kl/年未満で、かつ
使用している自動車は100台未満の皆様です。

省エネ対策事業費 融資

設備導入を行う中小規模事業者に対し、設備導入経費のための資金を融資します。

融資制度の区分	中小企業制度融資フロンティア資金（環境・エネルギー対策）
融資対象	CO ₂ 削減対策のための設備等を導入するための費用
融資限度額	8千万円（協同組合等は1億2千万円）
融資利率	年利2.1%以内
融資期間	1年超10年以内（運転資金は1年超7年以内）

相談日時 毎週月～金曜日（祝日を除く）
8:30～17:15
（12:00～13:00を除く）

相談・
問合せ先 神奈川県環境農政局
環境部 環境計画課
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
神奈川県庁新庁舎3階

TEL 045-210-4083

FAX 045-210-8952

詳しくは、次の県環境計画課ホームページをご覧ください。
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7226/>

A Tトランスミッションメーカーと製紙工場

トピー工業(株)綾瀬製造所

設備技術部保全技術グループ 西 口 毅

神奈川県環境保全協議会の年間行事である環境保全視察研究会が2013年3月1日(金)に開催されました。

例年、環境取組み内容を中心とした魅力いっぱいの視察が行われるとの事でワクワクしながら集合場所の本厚木駅に向かいました。

今回の視察で使用するバスは、なんと日産自動車の社用車バスということで、目的地に向かう車中では、参加者皆さんの個性的な自己紹介・挨拶で賑わい、あっという間に初めの目的地である『ジャトコ(株)本社工場』へ到着しました。

ジャトコ(株)は、世界有数の<オートマチックトランスミッション>の専門メーカーであり、本社工場は材料~加工~熱処理~組立~検査~物流までの一貫したものづくりを強みとした工場でした。CSRへの取組み、軽量化及びスクラップの社内再利用による省資源や様々な省エネ改善に取組まれておりました。その中でも、BCMルームという建物がありましたが、震災などの非常事態時のために、非常用発電機や通信機器、食物や寝袋などを備えており、あらゆる事態を想定して取組まれているのだと、とても印象に残りました。



次に、ジャトコ(株)と同じく富士市にある『日本製紙(株)吉永工場』に向かいました。

こちらでは大量の古紙を主原料に<白板紙やダンボールの原紙>を生産しており、CS

Rの一環の中で、【グリーンアクションプラン2015】という中長期的な環境への取組みを推進しておりました。地球温暖化対策や省資源、環境負荷低減などに関して具体的に目標値を定め、環境への強い取組み姿勢が感じられました。

省資源の取組みとして、自社で発生した焼却灰を土質改良材原料として液状化や河川工事などに活用され、静岡県のリサイクル製品認定を受けているとの事。素晴らしい!



最後に、NEXCO中日本の『新東名コミュニケーション・プラザ富士』を見学させて頂きました。次世代の高速道路として<世界をリードする高速道路システム>を取り入れた - 新東名高速道路 - を身近に感じられる施設となっており、最先端技術を集結した工法や建設手順を、模型や映像を通じて知ることが出来ます。

自然環境を十分に考慮した施工や緑のリサイクル運動、鮎の放流等、様々なCSR活動に取組まれているのだと感じました。

今回の研究会を通じて、各企業共に様々な形でCSRを実践されており、改めて環境への取組みの大切さを痛感致しました。環境への取組みに終わりは無く、継続的に続けていく事がとても大事なのだと感じました。また、機会があればぜひ参加させて頂きたいと思えます。



神奈川県環境農政局環境部大気水質課

1 神奈川の大气環境の改善のために

神奈川県では、現在、平成32年度を目標とした「神奈川県自動車排出窒素酸化物及び粒子状物質総量削減計画」を策定しようとしています。(平成25年2月末現在)

これまで、ディーゼル車運行規制の実施などにより大気環境の改善に取り組み、平成23年度には浮遊粒子状物質の環境基準を全測定局で達成しましたが、二酸化窒素の環境基準については、1局が非達成となりました。この1局は、川崎市川崎区の池上新田公園前測定局ですが、これまでに1度も、二酸化窒素の環境基準を達成したことがありません。策定中の総量削減計画の中でも、この地域の環境基準達成が重要な課題となっていることは、前回、掲載したとおりです。

そこで、総量削減計画では、従来から行っているディーゼル車規制等の施策を引き続き実施するとともに、誰もができる環境対策であるエコドライブの普及を進めることも重要な施策として位置づけています。

それでは、皆様にもすぐ実践していただけるエコドライブについて、ご紹介します。

2 エコドライブは「一石三鳥の取組」

「エコドライブ」について、どのようなイメージがあるでしょうか。

面倒くさい、スピードが出せなくてイライラする、目的地に着くのが遅くなる、のろのろ運転で交通の邪魔になる...など、マイナスのイメージが強いかもしれません。

しかし、エコドライブは「一石三鳥の取組」と言われるメリットの多い取組です。

まず、環境にやさしい。エコドライブといえば燃費のよい走り方です。燃料の消費を抑えることによって、排出ガスが減って大気環境が改善するだけでなく、地球温暖化対策としてのCO₂削減効果もあります。年間1,200km走行するガソリン車がエコドライブを実践して、燃費が14%改善した場合、スギの木約18本分のCO₂ (252kg) が削減されると言われています。

次に、家計にやさしい。燃料の消費を抑えると、当然、家計にも影響します。上記と同じ条件で計算すると、年間で113.4Lのガソリンが節約でき、ガソリン1L=130円で換算すると、年間14,700円の経費節減効果となります。

そして、人にもやさしい。エコドライブは、急発進や急加速を控え、適度な車間距離を保って一定速度で運転し、止まるときには早めにブレーキオフしてエンジンプレーキを活用することで燃料の消費を抑えます。これらの運転方法は、安全運転にもつながり、事故防止にもなるのです。



(参考) 九都県市あおぞらネットワークHP <http://www.9taiki.jp/eco/index.html>

3 エコドライブ10のすすめ

エコドライブの実践項目として国が中心となって呼びかけているのが「エコドライブ10」です。内容を簡単にご紹介します。

ふんわりアクセル「e-スタート」

発進時には、5秒で20km/hを目安にゆっくりとスタートしましょう。

車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転

走行中は、一定速度で走ることを心がけましょう。車間距離が短くなると、ムダな加速・減速の機会が増えます。

減速時は早めにアクセルを離そう

エンジンブレーキをうまく活用することで、燃料を節約することができます。

エアコンの使用は適切に

車のエアコン（A/C）は車内を冷却・除湿する機能のため、暖房のみ使用する場合はオフにしましょう。また、冷房時も冷やしすぎないようにしましょう。

ムダなアイドリングはやめよう

待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐停車の際は、アイドリングはやめましょう。

渋滞を避け、余裕をもって出発しよう

道路交通情報などにより、渋滞を避けることで、無駄な燃料消費を抑えられます。

タイヤの空気圧から始める点検・整備

タイヤの空気圧が適正值よりも不足すると、市街地で2%程度、郊外で4%程度燃費が悪化します。こまめに空気圧をチェックしましょう。

不要な荷物はおろそう

車の燃費は荷物の重さに大きく影響されます。運ぶ必要のない荷物はおろしましょう。

走行の妨げとなる駐車はやめよう

迷惑駐車による渋滞が燃費を悪化させます。

自分の燃費を把握しよう

自分の車の燃費を把握することを習慣にすることで、エコドライブの効果を実感できます。

(参考) エコドライブ普及推進ポータルサイト http://www.ecodrive.jp/eco_10.html

4 今日から始めるエコドライブ

エコドライブの実践は難しいものではなく、皆様にとってもメリットがあるものだということがお分かりいただけたのではないのでしょうか。

すぐに、「エコドライブ10」全ての項目を実践できれば、もちろん理想的ですが、ひとつずつでも「やってみよう!」という気持ちを持っていただくことが大切です。

きっかけとして、10番目の「自分の燃費を把握しよう」から始めてみてはいかがでしょうか。何事もまず、現状を把握することからはじまります。それに、その方法は、給油時に満タン給油とし、走行距離と給油量を書きとめるだけなのでとても簡単です。車種によっては、車に搭載された燃費計の数字をチェックするだけでも構いません。早速、今日から始めてみましょう。

そして、「文章だけでは、エコドライブの運転の仕方が分からない」、「普段からエコドライブは意識しているつもりだけど、できているか不安」という方には、エコドライブ講習会を受講されることをおすすめします。

エコドライブ講習会には、講義のみのもや実際に車を運転するもの、自治体等が主催しているものや民間で行われているものなど様々なものがあります。ぜひ、ご自身に合ったタイプの講習会を見つけて受講してみてください。

皆様ひとりひとりのエコドライブが、神奈川県の大気環境を改善し、さらに、地球温暖化を防止します。

(参考) 燃費管理サイト「ReCoo」 <http://www.recoo.jp/>



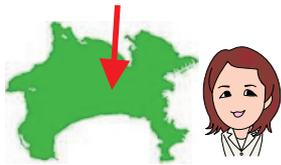
マイアジェンダ登録（事業者の方はエコネットワーク登録）の上、お申込みされた方にステッカーを配布しています。

エコドライブを実践する車の後ろに貼りましょう。

（ステッカー申込先）

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f642/p7822.html>

会員事業所訪問⑮ お元気ですか？



今回は県央部 海老名市の事業所です！

株式会社中村屋神奈川工場

協議会事務局 山崎美紀

（株）中村屋神奈川工場は県央部海老名市の東柏ヶ谷地区の準工業地域に位置しています。創業は明治34年、創業者の相馬愛蔵・黒光夫妻は当時まだ馴染みが薄かった「パン」に目をつけ、本郷の東大正門前の「中村屋」というパン屋を居抜きで買い取ったのが始まりだそうです。創業者の姓からではなく買い取ったパン屋の名前をそのまま屋号に使用していることを初めて知りました。

その後、本社は現在の新宿区新宿3丁目に移転されます。日本の3大菓子パンの一つに「クリームパン」がありますが、これは中村屋創案の商品です。相馬夫妻が「シュークリーム」を初めて食べてその美味しさと栄養価の高さに着目し、パンに仕立てたのが始まりです。明治37年に販売を開始し大好評となり、現在は菓子パンの定番として人気を誇っています。なお、当初は柏餅のような型でしたが、いつからかグローブ型に。その理由は発酵過程でパンに空洞が出来てしまうのを改善するため空気抜きとして切れ目を入れたとも言われていますが、真相は資料が残っておらず不明だそうです。



和洋菓子「うすあわせ」



「中華まん」



レトルト食品「インドカレー」

当工場は、昭和43年稼働を開始、当協議会には昭和53年3月にご入会いただいております。敷地面積は約28,000m²。敷地内には、研究開発室も併設されており、製造、物流、営業、研究開発機能を有する工場となっています。当初は、食パン、中華まん、せんべい、チョコレート等を生産していましたが現在では左記写真の「和洋菓子」「中華まん」「レトルト食品」

を主に生産、代表的な商品の中華まんは日産約28万個、神奈川県内を中心として近隣県へ出荷しているそうです。環境



保全活動としては、省エネ対策、大気・水質・化学物質対策、廃棄物対策を重点に活動されています。工場内で使用する原水は豊富な地下水を利用、日量約800m³。排水は生産品によって変化があるものの処理場を経て、公共下水道へ放流。省エネ対策としては、コージェネレーションシステム運用、エアコンのインバータ方式への更新またデマンドコントロールによる電力のデータ化、見える化を実施し、更なる省エネの推進に努めているそうです。

廃棄物対策では、不良低減や原材料使用の効率化等を実施し、食品由来の廃棄物の削減に努められており、リサイクル率100%を達成。食品以外の廃棄物も肥料化や再生化などを行い、リサイクル率ほぼ100%を達成しているそうです。また、当工場ならではの取組みとして平成21年から平成23年までの3年間、相模原市の県立相原高校と協同で、食品廃棄物の一部をリサイクルし出来た液状飼料で豚を育て、その豚を原料として「中華まん」を開発・販売する取組みを実験的に行いました。今後も様々な視野で食品の3Rを推進していきたいとの佐藤工場長様のお話でした。

その他、地元と共生し、「高座地区河川をきれいにする会」など美化活動の推進や他の環境関係団体の役員を担うなど、積極的に活動されています。



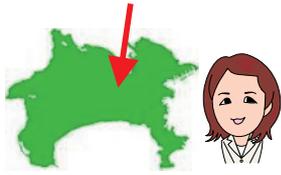
中華まんを販売する生徒たち

お話を伺って、ご紹介し切れなかった製品やまつわるエピソードがありましたが、あらためて創業者夫妻の独創性と時代要請を的確に見極め、消費者ニーズに応える姿勢に感服して、工場を後にしました。

—掲載内容についてのお問合せ先—

（株）中村屋神奈川工場
工務課 課長 藤生 康孝
(046) 231 - 4511

会員事業所訪問⑬ お元気ですか？



今回は県央部 大和市
の事業所です！

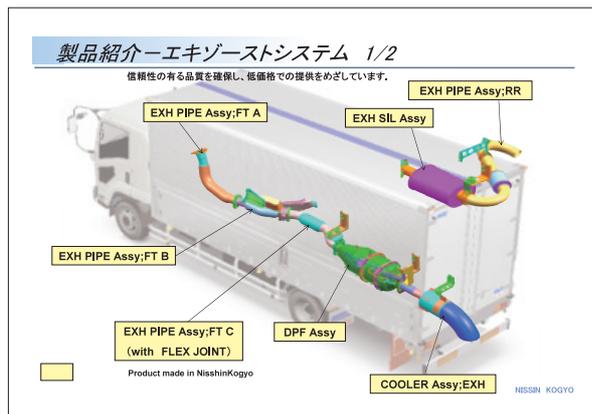
日新工業株式会社本社 神奈川工場

協議会事務局 山崎 美紀



(本社事務所棟)

日新工業(株)本社・神奈川工場は県央部大和市の上草柳地区の準工業地域に位置しています。創業は昭和34年、翌35年に鶴間工場が稼働、神奈川工場は昭和43年に稼働を開始し、当協議会に平成17年に入会いただきました。敷地面積は約16,600㎡、本社機能及び工場も現在は併設されています。主力製品としては、トラックやバスのエキゾーストシステムのパイプ及びサイレンサー。排ガスを車両後方に導きながら排ガス中の有害物質の無害化と低騒音にさせる排気システムの専門メーカーです。



パイプ



ディーゼル排ガス浄化装置

最近では中国の大気汚染問題が深刻な問題となっていますが、日本では大型貨物のディーゼルエンジンから排出されたススを含む有害な排ガスを触媒などで無害化させる環境対策装置など、すべての自動車に拡大採用され大気環境負荷が低減されてきています。製品そのものが環境対策製品ですので、厳しい基準をクリアするための技術の向上が期待されています。なお、製品はここから県内外の取引メーカーへ供給されることでした。

環境保全活動としては、特定施設を有する工場として大気・水質はもとより化学物質、廃棄物また省エネ対策に重点をおき活動されており、塗装工程もあることからVOC対策にも力を入れています。ISO14001を平成16年6月に取得、そのレベルアップにも努められています。昨年、震災以降の電力不足の中、節電対策に貢献したということで取引メーカーより功労賞を受けたそうです。

地域貢献活動として、最近では、大和市の協力を得て隣接する旧246号線側に花壇を設置し、総務課の皆さんを中心に手入れをしているそうです。また、毎朝の工場周辺道路の清掃を継続しており、環境美化活動にも取り組まれているそうです。他にも初期消火競技大会や大和・綾瀬地区分会の役員を担うなど積極的に活動されています。社名のとおりに、日々新技術を生み出す努力をつくし、高性能のよりよい環境対策製品が誕生することを祈りながら、工場を後にしました。



ー掲載内容についてのお問合せ先ー
日新工業(株)本社・大和工場
総務課総務G チーフ 藤澤 清克
(046) 264 - 1221

協議会の活動状況

1 会員の状況 平成25年3月31日現在

区 分	正 会 員	賛助会員	計
前回までの計	3 2 3	2 3	3 4 6
新 入 会 員	0	1	1
退 会 会 員	6	0	6
計	3 1 7	2 4	3 4 1

新入会員（平成24年11月16日～平成 25年3月31日） 1社

	事業所名	業務内容	所 在 地	代表者名	電 話
1	都 市 拡 業 (株)	給排水設備 メンテナンス	横浜市南区三春台25	田尻 恵保	(045) 231-1686

退会会員 6社

2 県央地域環境情報交流会

日 時 平成24年11月29日(木) 13:30～16:00

会 場 (株)フジタ生産技術センター

参加者 39名

- 内 容
- (1) (株)フジタ技術センター施設見学
及び耐震工事の事例紹介
 - (2) 情報交流会（テーマ「災害に備える...災害に伴う環境汚染を防止するために」）
 - ・取組事例1 日立ピアメカニクス(株)
 - ・取組事例2 山下マテリアル(株)
 - (3) 意見交換



内 容 神奈川県の実況と公害の歴史、環境法令の全体像を理解、環境法令の読み（ルール）、法律・条例の申請手続き、排水・排出ガスの測定、事故時の措置、苦情対応と立入り検査への適切な対応、公害防止及び廃棄物に係る環境管理の在り方、廃棄物処理法の基礎知識、廃棄物演習



3 平成24年度環境実務後継者育成講座

日 時 平成25年1月29日(火) 9:30～16:45

会 場 横浜・波止場会館

受講者 30名

4 平成24年度公害防止統括者講習会

(横浜会場) 日 時 平成25年2月4日(月)

会 場 横浜・波止場会館

受講者 57名

(藤沢会場) 日 時 平成25年2月15日(金)

会 場 藤沢産業センター

受講者 41名

2 両日共通

講演内容 (13:30~16:30)
1. 「環境保全に係る企業の自主的な取組について ～三菱電機の事例～」 三菱電機(株)環境推進本部 担当部長 竹内 秀年 氏 *当協議会環境保全アドバイザー
2. 「最近の企業を取り巻く環境問題について」 (株)日立アーバンインベストメント 管理本部 環境センター長 神田 英治 氏 *当協議会環境保全アドバイザー
3. 「企業のコンプライアンス順守について～公害 防止統括者に期待すること～」 (株)日立アーバンインベストメント 管理本部 環境センター長 神田 英治 氏 *当協議会環境保全アドバイザー

5 「神環協との懇話会」

産業廃棄物協会 県央地区委員会事業に共催

日時 平成25年2月12日(火) 15:00~17:30

会場 アーバンホテル厚木

参加者 46名

内容 (1) 「排出事業者の廃棄物管理システムについて」

三菱電機(株)情報技術総合研究所
業務部管理グループ

グループマネージャー兼三菱電機(株)
本社環境推進本部担当部長

竹内 秀年 氏

(2) 「廃棄物処理法とIT化について」

～電子契約の概要等～

(株)佐野環境都市計画事務所

代表取締役 佐野 敦彦 氏

6 平成24年度地区部会役員会議

【県央地区】

日時 平成25年2月6日(水) 14:30~17:00

会場 (株)ニコン相模原製作所

【横須賀・鎌倉地区】

日時 平成25年2月13日(水) 14:30~17:00

会場 中外製薬(株)鎌倉事業所

【湘南地区】

日時 平成25年2月21日(木) 14:00~17:00

会場 田中貴金属工業(株)湘南工場

【県西地区】

日時 平成25年2月26日(火) 14:30~17:00

会場 (株)カネボウ化粧品小田原事業場

内容 (1) 平成25年度事業計画(地区部会
関連) について

(2) 会長・県センター所長表彰候補
者推薦について

(3) その他

7 平成24年度環境保全視察研究会(P13参照)

日時 平成25年3月1日(金)

視察先 ジャトコ(株)本社・富士地区

日本製紙(株)板紙事業本部吉永工場

NEXCO中日本コミュニケーションプラザ富士

参加者 29名

8 平成24年度第3回総務員会

日時 平成25年3月22日(金) 13:30~14:30

会場 万国橋会議センター

内容 (1) 平成25年度環境保全表彰等被表
彰者の選考について

(2) 平成25年度第3回理事会及び第
32回通常総会開催について

(3) 公益社団法人認定化にあたって
の状況報告と必要な諸手続きにつ
いて

(4) その他

9 平成24年度第3回理事会

日時 平成25年3月22日(金) 15:00~17:00

会場 万国橋会議センター

内容 (1) 新会員の承認について

(2) 役員の一部変更及び退任役員へ
の記念品の贈呈について

(3) 平成24年度事業報告案について

(4) 平成24年度収支決算報告(見込
み)案について

(5) 平成25年度事業計画案及び収支
予算案について

(6) 定款の一部改正について

(7) 公益社団法人認定申請の状況報
告について

(8) 平成25年度環境保全表彰被表彰
者の承認について

(9) その他



わがお国自慢 ～横浜市編～



私のふるさは横浜であり皆様ご存知の場所であることから、いまさらお国自慢といってもMM21を代表としたみなと町の風情は有名で良く知られた情報なので、何を自慢したらよいか・・・。
まよったあげく、横浜の中にあってピンポイントではありませんが、私の生まれ育った六角橋周辺を紹介させてもらいたいと思います。

横浜といっても六角橋はちょっと違ったイメージがあり、下町の雰囲気が漂っている。東神奈川から岸根・小机方面に走る横浜上麻生道路沿いにおいて、かつては横浜市電の終着駅があったことから地元では「終点」という呼び名がそのまま地名として通用していた。当時は仲見世商店街を中心とした活気のある場所で、地域全体で一軒の総合スーパーの機能を有していた。「終点」周辺には商店街や個人商店が立ち並び、肉屋、魚屋、乾物屋や布団店、衣料店、家具屋などばかりでなく、さらに鶏肉専門店、貝専門店やうなぎ屋、金魚やなど豊富な品揃えとサービスを誇っていた。また、「終点」から市電に乗るとまもなく反町公園（昔はローラースケートリンク（夏はプール）やジェットコースターなどを有した遊園地）につながっており、子供にとってはそこに足を踏み入れると何かが始まるようなワクワク・ドキドキ感を生む場所であった。



時代は変わり現在はプロレス興行やフリーマーケットなど色々なイベントを仕掛ける「六角橋ふれあいのまち」として、店舗こそ様変わりし、生活必需品だけではなくこだわった趣味の店などディープな雰囲気の店が多くなっているが、相変わらず雑然としている中に元気のある街として存在感を示してくれている。最近はいろいろなメディアにも登場するようになり、住民としてはちょっと自慢のローカルな街である。

（記 株式会社岡村製作所追浜事業所 石川 洋介）

広報委員会

委員長 株式会社日立製作所ITプラットフォーム事業本部神奈川事業所
副委員長 市光工業株式会社ライティング事業本部伊勢原製造所
委員 株式会社さんこうどう
委員 富士フィルム株式会社神奈川工場

委員 三菱樹脂株式会社平塚工場
委員 株式会社岡村製作所追浜事業所
委員 ソニー株式会社厚木テクノジ-センター
委員 株式会社ニコン相模原製作所

✉ 事務局だより ✉

会員の皆様には日頃から“しんかんきょう”をご覧いただきありがとうございます。総会特別号として会報誌を発行いたしました。

なお、この度当協議会は「公益社団法人神奈川県環境保全協議会」として新たなスタートを切ることとなりました。新生“しんかんきょう”として会報誌の内容も更に充実した情報満載のコンパクトな冊子を目指してまいります。

今後とも是非、この会報誌をご活用くださいますようお願い申し上げます。

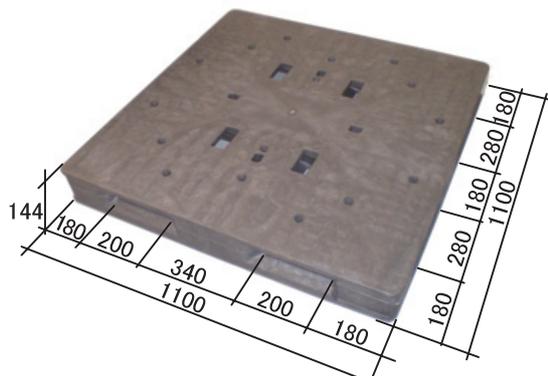
会報 しんかんきょう127号

発行年月日 平成25年4月
発行人兼 公益社団法人神奈川県環境保全協議会
編集責任者 会長 吉村 東彦
横浜市中区日本大通1
(神奈川県環境農政局内)
電話 (045) 210 - 8727
E-mail : shinkankyoku@eagle.ocn.ne.jp
ホームページ : http://www.shinkankyoku.or.jp
編集協力 株式会社さんこうどう (http://www.sankodo.ne.jp)
製作・印刷 電話 (0466) 27 - 2511

容器包装リサイクル再商品化事業者が再生プラスチックで自社生産する

MMPリサイクルパレット

使用するだけでエコロジー＆エコノミーな物流用パレット



写真はD4-1111
 その他サイズをご相談下さい。



パレットでは初めてのカーボンフットプリント認定商品です。

■カーボンフットプリントとは商品のライフサイクル全体(原材料調達から廃棄・リサイクルまで)で排出された温室効果ガスの排出量を換算して、当該商品に表示する仕組みです。2008年より経済通産省が主幹となり、統一マークを決定しています。



経済産業省試行事業 認証製品

カーボンオフセット製品

■カーボンオフセット済み カーボンニュートラル製品
 品番 MMPパレット R4-1012
 (排出権調達先 日本国内・岩手県)

廃棄プラスチックのリサイクルもご相談・ご用命下さい。

業界トップクラスの高品質・高耐久・低価格のMMPリサイクルパレットをお試し下さい。



エム・エム・プラスチック株式会社

千葉県富津市新富66-1

HP <http://www.mmplastic.co.jp>

問合せは東京営業所 TEL 03-5540-4226

例えば、遠くへ行きたいという願いに、
 エネルギーは応えてきた。

翔べ。今を超えて、明日へ。

乗り越えることは、人に喜びをもたらす。
 何かを成し遂げれば、誰かの笑顔が生まれる。
 エネルギーにもそれができる。
 やるべきことは、まだまだたくさん目の前にある。

The Energy Challenge.

ずっと走ろう。シェルと走ろう。
昭和シェル石油



創業
明治18年

環境報告書 おまかせください!!

似顔絵名刺で
集客! **UP**

会話の
きっかけに
なる

キャラクターで
売上! **UP**

一目で
イメージが
伝わる

デザイン

似顔絵・キャラクター

販促支援

印刷

広告

看板

ホームページ



さんこうどう自社キャラクター
さん太くん

三菱樹脂 平塚工場様
「環境報告書」は
毎年さんこうどうが
制作を担当させて
いただいております。

株式会社 **さんこうどう**
http://www.sankodo.ne.jp/
代表取締役 川上 彰久
(神奈川県環境保全協議会副会長)

ご相談無料

0120-3510-13

さんこうどう

検索



RB-E08005
登録範囲 印刷物の制作
日本印刷製人情報
保護体別認定制度
KP140001 (01)